



ライブラリー

福崎町立図書館 としょかんだより No.60

2015.6

《平成27年6月18日発行》

福崎町西治360番地1 TEL. 0790-22-3790
http://www.town.fukusaki.hyogo.jp/html/library/

祝 10周年!



図書館は今年で開館10周年！
開館当時から現在までを
まとめてみました。

福崎町立図書館

図書館 Before After

項目	平成18年度	平成26年度
1 福崎町の人口	20,026人	19,608人
2 蔵書冊数	80,223冊	126,593冊
3 登録者数	8,466人	13,277人
4 貸出冊数	159,382冊	206,674冊
5 町民1人あたりの年間貸出冊数	8.0冊/人	10.5冊/人
6 予約・リクエスト数	2,826件	2,774件

人口は減少したにも関わらず、町民1人あたりの年間貸出冊数などが増加するという嬉しい結果でした。多くの方にご利用いただいたという感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも地域に密着した存在として、さまざまな本を用意してお待ちしています。10周年を迎える福崎町立図書館を、どうぞよろしくお祈いします。

- ・平成19年11月 福崎町立図書館が「第9回人間サイズのまちづくり賞」受賞。
- ・平成22年5月 NHK「ここはふるさと旅するラジオ」の公開生放送。
- ・平成25年9月 図書館応援隊が「兵庫県くすのき賞」受賞。
- ・この他にも作家 柳田邦男さん、玉岡かおるさん、落語家 笑福亭仁勇さん、絵本作家 山口マオさん、詩人 たなかよしゆきさんなどに来ていただきました。

こんなことも
ありました



図書館カレンダー

※ は休館日です。

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1 えほんの じかん 11:00~	2 資料整理日	3	4 たなばた会 10:00~
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18 おはなし会 11:00~
19	20	21	22	23	24	25 映画会 14:00~
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1 おたのしみ会 14:00~
2	3	4	5 えほんの じかん 11:00~	6 資料整理日	7	8
9	10	11	12	13	14	15 おはなし会 11:00~
16	17	18	19	20	21	22 映画会 14:00~
23 30	24 31	25	26	27	28	29

たなばた会のお知らせ

7月4日(土) 10:00~15:00

- ・短冊におねがいごとをかこう！(10時~ 玄関)
 - ・フクちゃん・サキちゃんをさがせ！
(本さがしのゲーム 午前・午後の2回)
 - ・おはなし会(11時~ おはなしのへや)
 - ・子ども映画会
(14時~ メディアルーム)
- ※予約不要です。



町内の小中学生のみなさんへ

図書館では、みなさんが読んで面白かった本を紹介する「わたしのいっさつ」を募集しています。

おすすめの本を紹介したい時は、おはなしのへや近くの机か、「わたしのいっさつ」コーナーにあるカードに書いて、カウンターにある箱に入れてください。おすすめしてもらった本は、「わたしのいっさつ」コーナーで紹介します。みなさんのおすすめをお待ちしています！



こどものほん

えほん/1・2年生 3・4年生~ 5・6年生~



お・く・り・も・の



「きょうはなんのひ？」
せたていじ さく
(瀬田貞二 作)

「きょうはなんのひ、しらなきやかいだん3だんめ」。おかあさんが、まみこのいうとおりにかいだんをみると、そこには、またもや、つぎのてがみが...



「魔女の宅急便」
かどのえいこ さく
(角野栄子 作)

キキは13才。パン屋にすみながら「魔女の宅急便」というおとどけものやをやっています。キキのところへ来る人たちは、すこしかわってました。



「1ねんに365のたんじょう日プレゼント」をもらったベンジャミンのおはなし (ジュディ・バレット さく) プレゼントをあけるのが大好きなベンジャミンは、毎日あけるためにあることを思いつきます。



「シャーロットのおくりもの」 (E・B・ホワイト 作)

農場のブタであるウィルバーは、自分が食べられると知ってしまいました。悲しむウィルバーを見たクモのシャーロットは、何とかして助けようとしています。

10年前を振り返る

ほんたな



福崎町立図書館は7月で10周年を迎えます。開館した2005年はどんな本が話題になっていたのでしょうか？

この年の芥川賞は、上半期が中村文則「土の中の子供」、下半期が糸山秋子「沖で待つ」、直木賞は、上半期が朱川湊人「花まんま」、下半期が東野圭吾「容疑者Xの献身」が受賞しました。この中で東野さんは5回の落選を経ての受賞。落選しても「失望よりも楽しさのほうが大きかった」とエッセイの中で語っています。(『たぶん最後の御挨拶』より)

他には、『ちびくろ・さんぼ』の復刊が挙げられます。グルグル回ったトラがバターになって...というシーンをご存知の方も多いと思いますが、続編ではさんぼに弟が生まれます。そこで起こった新たなピンチを、さんぼはどう乗り切るのでしょうか？

お越しの際は、これらの本を手にとってみてください。

『ちびくろ・さんぼ』

(ヘレン・バンナーマン 文 瑞雲舎)



としょかんよりお知らせ 展示のお知らせ

6月2日から6日まで福崎西・東中学校の生徒が「トライやる・ウィーク」に参加し、カウンター業務や書架整理などを行いました。

図書館では、参加した生徒がおすすめする本を展示しています。おすすめの本は借りることもできますので、ご来館の際は展示の棚もご覧ください。

本は元の位置へ...

読み終わった図書が机の上に置かれたままや、違う所に入っていることが見られます。

本が迷子になると、他の方が読めなくなってしまいます。読み終わったら元の場所へ戻すか、カウンターまでお願いします。